

2022年度人権・同和教育全体計画

伊万里市立東陵中学校

| | | |
|--|--|---|
| <p style="text-align: center;">文科省「とりまとめ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の人権を守り、他人の人権を守るための実践行動力の育成 ○全教育活動を通じた人権教育の推進 ○ライフステージに応じた教職員研修の実施 | <p style="text-align: center;">学校教育目標</p> <p style="text-align: center;">志をもち、心豊かで、たくましく生きる生徒の育成 ～主体性（気づき・考え・行動する）を高めることを通して～</p> | <p style="text-align: center;">児童・保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安心して過ごせる学級、学校づくり ○自らの進路を切り拓く進路・学力保障 ○悩みを相談でき、適切に対応できる教職員集団づくり |
| <p style="text-align: center;">佐賀県 人権教育・啓発基本方針</p> <p style="text-align: center;">伊万里市 人権教育・啓発基本方針</p> <p style="text-align: center;">佐同教及び伊西地区同研 研究課題</p> | <p style="text-align: center;">人権教育の目標</p> <p style="text-align: center;">学校の教育活動全体を通して、生徒一人ひとりに自己肯定感をもたせ、人権尊重の精神を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する知的理解の徹底と深化 ・いじめや差別を見抜く人権感覚の醸成 ・自他の人権を守るための行動につながる実践力の育成 | <p style="text-align: center;">校区の人権課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分に自信をもち、自己表現をすることができる。 ○被差別の立場や厳しい状況にある生徒が、自分の立場と生き方に誇りをもつことができる。 |

| | | |
|--|--|--|
| <p style="text-align: center;">人権が尊重される環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①職員研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・校外での一対一研修 ・人権・部落差別を解消するための学習の事前・事後検討会 ・さまざまな人権課題に関する研修 ・小中合同研修会 ②子ども支援体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ・生徒や保護者の実態把握 ・生徒や保護者の相談体制の充実 ・進路・学力保障の取組 ・関係機関との連携 | <p style="text-align: center;">人権が尊重される人間関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子どもと子どもをつなぐ仲間づくり <ul style="list-style-type: none"> ・Q-Uアンケート等を活用した実態把握 ・Rタイムを活用した自己・他者理解 ・人権講話やはなまるタイムでの意見交流 ②達成感や充実感を実感できる自主的な活動づくり <ul style="list-style-type: none"> ・各種行事における実行委員会を中心とした企画・運営 ・学校行事や生徒会活動での一対一役や自主的な活動の場づくり | <p style="text-align: center;">人権が尊重される学習活動づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人権が尊重される授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・わかる授業づくり ・小グループを中心とした学び合い ②行動につながる人権・部落差別を解消するための学習の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・社会科と学年集団が連携した部落史・部落差別を解消するための学習の実践 ・道徳、学級活動、総合的な学習の時間を活用した人権学習の実施 ・人権週間や平和学習の充実 |
|--|--|--|

| | 環境づくりの目標 | 人間関係づくりの目標 | 学習活動づくりの目標 |
|------|---|---|---|
| 第1学年 | ○中学校生活への不安を解消し、学習や人間関係をスムーズに適応できるような支援を行う。 | ○自他のよさに気付かせ、互いを認め合い、安心して過ごせるような人間関係づくりをすすめる。 | ○さまざまな人権課題に対して、正しい知識を身に付け、いじめや差別に気付くような判断力を養う。 |
| 第2学年 | ○生徒の学習面、生活面での悩みを把握し、個に応じた支援を行う。 | ○よりよいクラスにするために、自分の思いや悩みを出し合い、自分たちで解決していけるような人間関係づくりをすすめる。 | ○差別解消に向けて行動した人々の生き方から、自分にできることを考え、行動につなげようとする態度を養う。 |
| 第3学年 | ○中学校卒業後の進路を見据え、生徒や保護者と共通理解を図りながら、進路保障に取り組む。 | ○学校のリーダーとしてさまざまな行事に主体的に取り組みせ、互いの思いや悩みを共有しながら、自治的な学級・学校づくりができるような人間関係づくりをすすめる。 | ○いじめや差別を見抜く人権感覚を高め、差別解消に向けて主体的に行動する実践力を養う。 |

| | |
|-----------|---|
| 国語 | ○伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにすることで、コミュニケーション能力の育成を図る。 |
| 社会 | ○広い視野で諸資料に基づいて多面的、多角的に考察する力を高めるとともに、自国や世界の歴史や文化に対する理解を深める。 |
| 数学 | ○根拠や事実に基づいて、客観的に真理を追究しようとする態度を育てる。 |
| 理科 | ○科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに、科学的な見方や考え方を養う。 |
| 音楽 | ○表現および鑑賞の活動を通して、感性を高めるとともに豊かな情操を養う。 |
| 美術 | ○表現および鑑賞の活動を通して、創造活動の喜びを味わうとともに感性を高め、豊かな情操を養う。 |
| 保健体育 | ○心身ともに健康で、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 |
| 技術家庭 | ○進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。 |
| 外国語 | ○言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 |
| 道徳 | ○自他を大切にし、差別や偏見のない社会の実現に向けた実践的な態度を養う。 ○人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念をもたせる。 |
| 特別活動 | ○望ましい集団活動を通して、互いを認め、協力し合って役割や責任を果たそうとする態度を育てる。 ○人間としての生き方についての自覚を深め、他者との共生を図りながら自己を生かす能力を培う。 |
| 総合的な学習の時間 | ○自ら課題を見付け、よりよく問題を解決できる資質や能力を育てるとともに、自己の生き方を考えることができるようにする。 |